

## 脳研究の最前線 脳の働き、障害そして治療

日時:平成16年4月24日(土)13:30~17:00

会場:名古屋私立大学 本部棟4階大ホール

主催:名古屋市立大学神経科学グループ

後援:文部科学省、愛知県教育委員会、名古屋市教育委員会

協力:中日新聞社、読売新聞中部本社

### 開催趣旨

脳の構造や働きの仕組みを知ることは、ヒトの脳を育むこと、ヒトの心を理解することや様々な病気からの解放につながります。世界脳週間、「脳を知る、守る、創る、育む」ことの重要性を社会の人々に広く理解していただくことを目的とし、世界各国で企画されるキャンペーンです。2004年は日本の将来を担っていく若い世代の高校生とその先生を中心に、脳研究の最前線とその重要性を紹介いたします。名古屋市立大学大学院医学研究科ではこのような趣旨に沿って、「こころを育む」をキーワードに4月24日(土)に公開講座と大学研究室の公開を企画いたしました。多くの皆様の積極的なご参加をお待ちしています。

代表 名古屋市立大学大学院 医学研究科 脳神経生理学 教授 西野 仁雄

### プログラム

13:30~14:45

「コミュニケーションの発達」

石川道子 (名古屋市地域療育センター所長)

14:45~15:45

「集団遺伝学から見たこころ」

古川壽亮 (名古屋市立大学大学院医学研究科 精神・認知・講堂医学教授)

15:45~17:00

研究室見学及び質疑応答

### 問合せ先

名古屋市立大学大学院医学研究科脳神経生理学

担当(伊藤仁一、飛田秀樹)

TEL:052-853-8136 FAX:052-842-3069

E-mail:hhida@med.nagoya-cu.ac.jp